

キアシドクガ

澄川森林の駐車場からの坂道を下りながら、やたら白い蛾がゆらゆらと飛んでいるのに気づいていました。坂を下りきってテント小屋の扉代わりにしているブルーのトタンに留まっている白い蛾が目にとまりました。デジカメで撮影。画面の記録は2014年6月30日8時51分でした。蛹化前の終齢幼虫の干からびた脱皮から蛹の殻とそれから抜け出した本体が同一画面に残ったので、同定する材料は揃っています。

白い蝶はモンシロチョウをはじめとしてエゾシロチョウ、スジグロシロチョウ、ウスバシロチョウ、ミヤマシロチョウなど、いろいろいますが、白い蛾は多くありません。後翅は見えませんが、純白の前翅は

エレガントであります。図鑑とネットで調べまして、キアシドクガと同定しました。キアシとは足が黄色いことでの命名ですが、上の画像では確認できません。下の画像右端成虫の前足で黄色が確認できます。体長35~40mm、開長44~46mm。

食草はミズキです。テント小屋の傍に成樹も幼樹も自生していますので、大発生環境はととのっているのです。毒蛾科に分類されていますが、毒性は無いそうです。分布はほぼ日本全土。世界的には朝鮮半島、中国、ロシア極東とのこと。腹部の見える画像が見つかりましたので、ご覧ください。薄い黒の横縞が見えますが、裏側も美しいではありませんか。

